

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年8月7日

上場会社名 株式会社SANKYO 上場取引所 東
 コード番号 6417 URL <https://www.sankyo-fever.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 公久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 大島 洋子 TEL 03-5778-7777 (代)
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	17,960	58.2	3,752	-	4,181	-	3,259	-
2020年3月期第1四半期	11,351	△21.8	△596	-	△155	-	△93	-

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 4,027百万円(-%) 2020年3月期第1四半期 △2,363百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	53.28	49.69
2020年3月期第1四半期	△1.16	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	316,000	268,960	84.6
2020年3月期	325,232	269,521	82.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 267,422百万円 2020年3月期 267,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	75.00	-	75.00	150.00
2021年3月期	-				
2021年3月期(予想)		75.00	-	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	73,500	△6.3	8,000	△36.3	8,700	△35.4	6,200	△52.5		101.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社グループは事業計画を年次で管理しており、通期での開示のみとしております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期1Q	69,597,500株	2020年3月期	69,597,500株
2021年3月期1Q	8,415,405株	2020年3月期	8,427,105株
2021年3月期1Q	61,174,648株	2020年3月期1Q	81,175,399株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済活動が停滞し、経済指標などの悪化も続き、極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言の解除に伴い、経済活動の再開が徐々に進んでおりますが、先行きにつきましても厳しい状況が続くことが見込まれております。

当パチンコ・パチスロ業界では、パーラーにおきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、集客等を目的とした広告宣伝の自粛や、全国的な休業も余儀なくされ、厳しい経営環境に直面いたしました。5月25日付で政府が緊急事態解除宣言を発出したことに伴い、当業界における営業自粛などの動きも一巡した状況にありますが、感染症への不安が完全には払拭されておらず、パーラーの新機種購買意欲が本格的な回復に向かうにはしばらく時間を要すると考えられます。遊技機メーカーにおきましては、部品調達の遅延や、保通協における型式試験の受理件数の減少、適合率が依然として低水準で推移していることなどにより、新規機種の供給が一時停滞いたしました。

こうした中、2018年2月に施行された改正遊技機規則が2020年5月に改正・施行され、旧規則機の撤去期限が1年間延長されることとなりました。この改正・施行を受け、コロナ禍で一時休業や設備投資の先送りを余儀なくされたパーラーでは、計画的な新規機種への入替対応を進めることとしており、遊技機メーカーはそうした需要に対し、適宜、供給することが求められております。また、2020年に入り、警察庁が「技術上の規格解釈基準」を変更したことに伴い、これまでにないゲーム性を有するパチンコ機が開発可能となり、徐々に投入が開始され、今後需要を喚起していくことが期待されております。

当社グループでは、当第1四半期連結累計期間におきまして、パチンコ機2タイトル（リユース機を除く）を発売いたしました。4月に発売した「フィーバー戦姫絶唱シンフォギア2」は、2017年8月に発売し、近年では異例のロングラン販売となった「フィーバー戦姫絶唱シンフォギア」の後継機であり、発売直後より前作同様、多くのファンからご好評をいただき、追加受注をいただいております。また、新解釈基準機の業界第1弾「フィーバー真花月2 夜桜バージョン」（2020年4月）は、規定回数まで大当りしなかった場合に時短に突入する新システム「遊タイム」を搭載し、新しいゲーム性を体験できるパチンコ機となっております。

以上の結果、売上高179億円（前年同四半期比58.2%増）、営業利益37億円（前年同四半期は5億円の営業損失）、経常利益41億円（前年同四半期は1億円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益32億円（前年同四半期は93百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、売上高169億円（前年同四半期比140.0%増）、営業利益54億円（前年同四半期は2億円の営業損失）、販売台数33千台（前年同四半期は18千台）となりました。

新規販売タイトルは、SANKYOブランドの「フィーバー戦姫絶唱シンフォギア2」（2020年4月）、「フィーバー真花月2 夜桜バージョン」（2020年4月）の2タイトルであります。

(パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、新規販売タイトルがなく、売上高2億円（前年同四半期比92.0%減）、営業損失7億円（前年同四半期は7億円の営業利益）、販売台数は3百台（前年同四半期は6千台）となりました。

(補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高7億円（前年同四半期比48.7%減）、営業損失22百万円（前年同四半期は88百万円の営業利益）となりました。

(その他)

その他につきましては、売上高56百万円（前年同四半期比72.3%減）、営業利益10百万円（前年同四半期は74百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は3,160億円であり、前連結会計年度末と比べ92億円減少しました。これは主に、現金及び預金が92億円増加となりましたが、受取手形及び売掛金が56億円、有償支給未収入金（流動資産「その他」に含む）が51億円、有価証券が50億円、商品及び製品が20億円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は470億円であり、前連結会計年度末と比べ86億円減少しました。これは主に、電子記録債務が8億円増加となりましたが、支払手形及び買掛金が100億円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ5億円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を32億円計上、その他有価証券評価差額金が7億円増加した一方、配当金の支払い45億円によるものであります。この結果、純資産は2,689億円となり、自己資本比率は2.2ポイント増加し、84.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業績予想の合理的な見積りが困難であることから、業績予想を未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき、連結業績予想を以下の通り公表いたします。

	(見通し)	(対前期比)	(2020年3月期実績)
売上高	735億円	6.3%減	784億円
営業利益	80億円	36.3%減	125億円
経常利益	87億円	35.4%減	134億円
親会社株主に帰属する当期純利益	62億円	52.5%減	130億円

また、配当予想につきましては、業績、財政状態、配当性向などを総合的に勘案した上で、安定的かつ継続的な配当を行うとの基本方針に基づき、1株当たり中間配当75円、1株当たり期末配当75円の年間150円とさせていただきます。

詳細につきましては、本日（2020年8月7日）公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	122,847	132,114
受取手形及び売掛金	16,743	11,059
有価証券	119,999	114,999
商品及び製品	2,060	39
仕掛品	21	35
原材料及び貯蔵品	3,701	3,666
その他	10,669	5,438
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	276,041	267,352
固定資産		
有形固定資産	27,244	27,031
無形固定資産		
その他	142	133
無形固定資産合計	142	133
投資その他の資産		
投資有価証券	13,035	13,334
その他	8,785	8,164
貸倒引当金	△17	△16
投資その他の資産合計	21,803	21,482
固定資産合計	49,190	48,648
資産合計	325,232	316,000
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,789	3,743
電子記録債務	7,637	8,495
1年内償還予定の新株予約権付社債	20,006	20,001
未払法人税等	1,043	260
賞与引当金	765	1,243
株主優待引当金	101	101
その他	3,880	4,687
流動負債合計	47,224	38,534
固定負債		
退職給付に係る負債	4,962	5,005
資産除去債務	75	75
その他	3,448	3,424
固定負債合計	8,486	8,505
負債合計	55,711	47,039

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,750	23,750
利益剰余金	257,575	256,239
自己株式	△31,822	△31,778
株主資本合計	264,343	263,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,549	4,321
退職給付に係る調整累計額	53	49
その他の包括利益累計額合計	3,603	4,371
新株予約権	1,574	1,538
純資産合計	269,521	268,960
負債純資産合計	325,232	316,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	11,351	17,960
売上原価	5,279	8,809
売上総利益	6,071	9,151
販売費及び一般管理費	6,667	5,399
営業利益又は営業損失(△)	△596	3,752
営業外収益		
受取利息	49	35
受取配当金	352	328
その他	39	68
営業外収益合計	441	432
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	2
その他	0	0
営業外費用合計	0	3
経常利益又は経常損失(△)	△155	4,181
特別利益		
投資有価証券売却益	—	145
特別利益合計	—	145
特別損失		
固定資産廃棄損	—	4
関係会社株式売却損	—	16
特別損失合計	—	20
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△155	4,306
法人税、住民税及び事業税	13	547
法人税等調整額	△75	500
法人税等合計	△61	1,047
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△93	3,259
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△93	3,259

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△93	3,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,267	771
退職給付に係る調整額	△2	△3
その他の包括利益合計	△2,270	767
四半期包括利益	△2,363	4,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,363	4,027
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,064	2,635	1,448	11,147	203	11,351	—	11,351
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,064	2,635	1,448	11,147	203	11,351	—	11,351
セグメント利益 又は損失(△)	△238	718	88	568	△74	493	△1,089	△596

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,952	210	742	17,904	56	17,960	—	17,960
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	16,952	210	742	17,904	56	17,960	—	17,960
セグメント利益 又は損失(△)	5,408	△722	△22	4,663	10	4,674	△922	3,752

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。